岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　一級河川　太田川水系　杉谷川　通常砂防事業に伴う業務委託

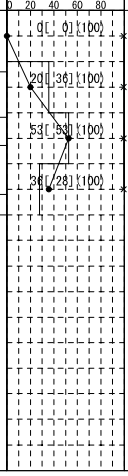
事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	ボーリングNo.4	調査位置	広島県広島市安佐北区可部町桐原	北緯	34° 31′ 31.6262″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和4年 2月28日～ 令和4年 3月 1日	東経	132° 32′ 16.2553″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 129.85m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	4.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-D / エンジン：ヤンマー TF-90M / ポンプ：東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分
1	128.65	1.20		砂礫	茶						
2				花崗岩	淡赤	w2	h1	B	Ⅲ	b	CM
3						w1		A	Ⅰ		CH
						w2		B	Ⅲ		CM
4	125.85	4.00						C		c	CL
5											
6											
7											
8											
9											

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]



記事

φ7cm未満の角礫を主体とする。礫間は中～粗砂。

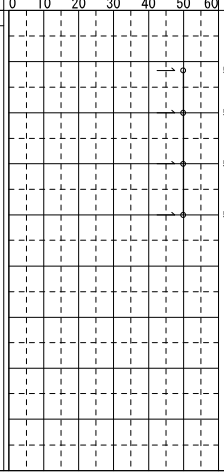
硬質な粗粒花崗岩。ほぼ全深度でコア外周を保つ。

2.09～2.64m間，1本ものの棒状コア。

3.6～4.0m，長石やや白濁し，亀裂が増加する。亀裂間に黒色細粒物が付着する。以深で鉛直亀裂が増加する。
余掘り4.0～4.2mはCM級の硬質岩。

孔内水位／測定月日

標準貫入試験



N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
50以上	1.15	50	50	
	1.20	50		
50以上	2.00	貫入不能		
50以上	3.00	貫入不能		
50以上	4.00	貫入不能		

原位置試験　室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
2/28	20	66/ケーシング	打込みハガネ	0	0	0	W 0	0
	100	66	ダブル／ダイヤ	100	300	1	W 5	5
				200	300			
				300	300			